

寒冷地形談話会通信

1997年度第6号 1998. 1.27発行

事務局：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学地理学教室寒冷地形談話会事務局

TEL. 0426-77-1111 (Ext. 3836) E-mail: aoyama@geog.metro-u.ac.jp

・2月例会のお知らせ

日時：1998年2月7日(土) 13:30～

場所：明治大学駿河台校舎 大学院棟5F510教室
JR中央線お茶の水駅下車徒歩5分

2月例会は卒業論文・修士論文の発表会です。発表内容は氷河・周氷河関係だけでなく地生態や地形と多岐にわたっております。

ベテランから若手まで多くの方には是非ともご参加いただき活発な討論をしていただきたいと思っております。

・12月例会報告 (12月6日, 於：明治大学 参加者17名)

渡辺悌二(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

「ヒマラヤの最近の地形・地生態学研究」

講演者が1997年9月から10月にかけて行ったネパール・ヒマラヤ東部、カンチェンジュンガ・ヒマールでの調査の報告がされた。世界第三位の高峰としてカンチェンジュンガは有名であるが、その位置やカンチェンジュンガが地形学的・地生態学的にどういった特徴があるのか、馴染みも少なくあまりピンと来ない。講演では多数のスライドや地形図を示し、この点を補いながら、調査の報告がされた。

カンチェンジュンガ・ヒマールは、動植物、地形、民族、文化などのあらゆる要素が多様な地域であり、現在ネパール、インド、中国(チベット)の3国にまたがる3国共同の「国際公園」として保全しようとする動きがある。ネパールに関しては、1997年7月に自然保全地域(Conservation area)に指定され、今後トレッカーが急増するものと思われる。しかし地元住民がこの多様な自然を十分に理解しておらず、ほかのネパール山岳地で生じている自然破壊が進む可能性がある。そこで、自然保護やエコ・ツーリズムに関する知識の普及・啓蒙をはかることが必要であり、そのためにこの地域の総合的な学術調査を行っている。

本地域の地形について現地調査に先立つ空中写真の判読から、岩石氷河が多数分布していることがわかった。現地調査では数地点で、岩石氷河のピットワークや相対編年、測量を行い、知見を得た。ピットワークから、inactive rock glacier の上に active rock glacier が覆い被さっている事例、氷河起源の岩石氷河ではマトリックスが多く、周氷河起源の岩石氷河ではマトリックスが少ないといった事例が観察された。また、カンチェンジュンガ氷河ではラテラルモレーンの滑動が認められ、最近の永久凍土の融解によるものと考えられる。

本調査は、NGO「ヒマラヤの村と自然を守る会」が行い、さらに2年間継続して調査をすすめる予定である。

(文責：事務局)

寒冷地形談話会2月例会プログラム

「地生態」

- 13:30～13:50 真崎 庸（東京学芸大・学）： 上高地梓川本流における淵の物理的環境とサケ科魚類の生息密度
13:50～14:10 勝部圭一（東京大・学）： 屋久島奥岳の森林限界について
14:10～14:30 沢田結基（明治大・学）： 然別火山群ヌプカウシヌプリにおける植生分布を決定する地形的要因
14:30～14:45 「地生態」セクション討論
14:45～15:00 休憩

「氷河・周氷河」

- 15:00～15:20 木村 剛（明治大・院）： 日高山脈中部の南一北斜面の非対称性
15:20～15:40 天井澤 暁裕（明治大・研）： 根室半島におけるアースハンモックの形成環境
15:40～16:00 青山雅史（都立大・院）： 日本の岩石氷河の形態的特徴と周氷河環境における意義
16:00～16:20 朝日克彦（都立大・院）： ネパール・ヒマラヤ東部における最近の氷河変動とその要因
16:20～16:40 「氷河・周氷河」セクション討論
16:40～16:55 休憩

「地形」

- 16:55～17:15 石井正樹（明治大・院）： 大所川流域の地すべり地形と発達史
17:15～17:35 長尾朋子（お茶大・院）： 久慈川中流域における水害防備林の地形学的立地と地域住民による保全
17:35～17:55 目代邦康（東京学芸大・院）： 中部山岳地帯における巨大崩壊地の分布とその成因
17:55～18:10 「地形」セクション討論
懇親会 18:30～

・1997年度総会のお知らせ

1997年度寒冷地形談話会の総会を日本地理学会春季学術大会（1998年3月28～29日、於国士舘大学）中に開催する予定です。日時や場所については地理学会会場にて掲示、お知らせします。ふるって御参加下さい。

事務局より

「山岳气象台」のコーナーでは記事を募集しています。どしどしご投稿下さい。前号の松本氏に対するご意見も歓迎です。